

AAPSO 第 12 回大会が採択したカイロ宣言

アジア・アフリカ人民連帯機構（AAPSO）第 12 回大会が 2025 年 10 月 19 日カイロで開催され、以下の宣言を採択した。

我ら、2025 年 10 月 19 日にカイロで開催された第 12 回アジア・アフリカ人民連帯機構大会に参加する代表団は、1955 年 4 月の歴史的なバンドン会議が体現した深遠な意義、アジア・アフリカ人民連帯運動の創設者たちの闘争、1957 年に我々が尊い組織が設立されたこと、そしてそれが直面した困難な挑戦の中で、我々の人民を植民地主義から解放し、その独立を強化するために果たしてきた役割を想起し、以下の通り宣言する。

第一：本大会は、AAPSO 議長へのモハメド・エル・オラビ大使の任命を承認し、モハメド・イフサン博士を事務局長に選出した。また、以下の副会長の選出を承認した。ロシアのイリヤス・ホムクロフ氏、モロッコのタレ・エル・アラトラシ氏、イラクのジャシム・アル・ハルフィ博士、エジプトのアデル・モハメド・アハメド・エルサイド参事官、エジプトのエッサム・シェハ氏。

さらに、クリスティン・ガマル氏が常設事務局の総括調整官に任命された（総裁及び事務総長の承認を得て）。

第二に：組織が新しい出発点にたって新たな変化に立ち向かう時がきた。それらに対処し、理解し、適切な対策を講じなければ、人民の闘争は混乱しかねない。新たな国際システムが、覇権主義的傾向から解放されたより公正なシステムへと形成されつつある。我々の諸国がこのプロセスに積極的に参加する動きがなければ、我々の諸国民の利益を顧みない形で進行する可能性がある。当機構は、この点において特別な責任を負っている。すなわち、現在の変革に積極的に参加しないことで生じうる危険性について諸国民の認識を高めるよう努めるとともに、イニシアチブを提唱してこのプロセスに参加し、覇権主義の打倒とあらゆる形態での解放の任務を完遂する諸国民の犠牲と闘争に相応しい地位を確実にし

なければならない。

第三：参加者は、ガザ地区およびヨルダン川西岸におけるイスラエルのパレスチナ人民に対する 2 年間にわたる戦争犯罪の後、ガザにおける停戦合意とその復興に向けた初期段階の措置を歓迎する。同時に、イスラエルが「捕虜遺体引き渡し手続きの遅延」といった薄弱な口実で本合意を反故にする可能性を示す兆候に対し、警戒を表明する。これは特に懸念される。イスラエルが過去に結んだ 2023 年 11 月及び 2025 年 1 月のガザ停戦合意、2025 年 11 月のレバノン停戦合意、1974 年のシリアとの離脱合意において、いずれも契約上の義務を履行せず、薄弱な口実を用いて破棄してきた前例があるからだ。つまり我々にはパレスチナ情勢の推移を極めて警戒して監視し、それに応じて必要な措置を講じることが求められている。この点に関して、我々は強調する。いまこそ対決を決定的に勝利に導く我々の能力を損なうパレスチナ分裂を終わらせる時だ。この分裂の継続に責任を負う者全てを躊躇なく暴露しなければならない。勝利はパレスチナ人民のものだ、神のご加護があれば。彼らは人間の限界を超えた犠牲を払い、過去にも。トランプ政権初期の「世紀の取引」など数多くの疑わしい計画に対する勝利を。

第四に：参加者は、諸国民が直面する深刻な課題は政治や安全保障上の課題に限定されないことを認識する。気候変動、伝染病の蔓延、貿易戦争、開発の阻害など、諸国民の福祉に現実的な脅威をもたらす極めて重要な課題が存在する。これらの課題に諸国民が連帯して真剣に対峙する必要がある。実際、我々はラテンアメリカの兄弟姉妹や世界中の解放運動に対し、この対決を成功させるため手を差し伸べる。

第五に：我々は、多くの国々で続く内戦が、いかなる状況下でももはや容認できないことを強調する。これらの紛争は国家の領土保全を脅かすだけでなく、国家資源を完全に枯渇させ、市民から最も基本的なサービスを奪っている。本会議は、関係するすべての当事者に、これらの紛争を終わらせることができる仕組みの構築に向けて、あらゆる努力を惜しまないよう強く求める。この点、また、これらの紛争の犠牲者に対する人道支援の迅速な提供の促進、および紛争終結後の復興努力への参加において、当組織は特別な責任を負っている。

第六：スーダンにおける戦争の終結と平和の確立を目的とした国際的およびアラブの努力を称賛し、支持する。

第七：我々は、ロシア・アジア・アフリカ諸国連帯協力委員会が、ロシアとアジア・アフリカ諸国間のメディア環境を統一し、文化、科学、経済協力を強化し、相互尊重と共通の利益に基づくコミュニケーションのプラットフォームを構築することを目的として、人工知能を含む現代技術に基づく国境を越えたメディアセンターを設立するイニシアチブを高く評価し、支持する。

最後、我々は、この会議が、新指導部のもと組織にとって新たな始まりとなることを確信している。エジプトの外務大臣、バドル・アブデルアティ博士閣下には、本会議への支援と後援を頂き、また、アラブ・エジプト共和国のアブデルファッタ・アル・シシ大統領閣下には、パレスチナ国民を支援する誠実なご努力を賜ったことに、感謝の意を表明する。

我ら諸国民と、世界の自由を愛する全ての人々に勝利あれ。

【書記局発出の英文から 翻訳チェック 田中靖宏】